

「高病原性鳥インフルエンザ」への対応について

1 香川県での発生状況

- ・ 2月6日、香川県三豊市の養鶏農場において、国内8例目となる発生を確認
発生農場 採卵鶏 約7万羽飼養
疫学関連農場 採卵鶏 約4万羽飼養 合計 約11万羽
- ・ 2月7日午前11時、殺処分が終了、2月8日午後4時現在、埋却作業中
- ・ 当該農場を中心とする半径10kmの「搬出制限区域内」に、
本県養鶏農場4か所が所在

2 本県の対応状況

（1）「危機管理会議」の開催（2月5日）

- ・ 庁内関係部局との情報共有
- ・ 関係部局一丸となった防疫対策の徹底について確認

（2）防疫対策の強化

- ・ 県内へのウイルスの侵入を防ぐため、香川県との県境に「消毒ポイント」を設置
- ・ 2月6日午前10時より、鶏や飼料の運搬車両を対象に、24時間体制で消毒を実施
※ 2月8日午後4時現在 車両消毒台数：38台
- ・ 県内養鶏農場に対し「消毒の徹底」や「野生小動物の侵入防止対策」など
飼養衛生管理の強化

（3）野鳥監視体制の強化

- ・ 市町村や「日本野鳥の会・徳島県支部」、「徳島県猟友会」などと連携し、
死亡野鳥の監視を強化
- ・ 死亡野鳥を発見した際の対応や注意点について、県民に周知

3 「予備費」の活用

- ・ 「消毒ポイント」の必要経費について「予備費(28,900千円)」を活用